

学校保健委員会を開催しました！

開催日：2024.1.16.

健康診断結果まとめ

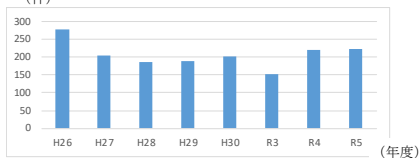
本校での健康診断受診率は、99.3%～100%と高く、多くの生徒が自己の健康に関心が高いことがわかりました。しかし、視力測定結果では、593人の生徒に勧告書を渡しましたが、そのうち眼科を受診した人は10.8%であり、視力に関しては関心の低さを感じられました。尿検査結果、精密検査の通知が届いた人には、腎臓病の心配がありますので、毎年受診を強く勧めています。健康は宝物です。結果をしっかり受け止めて、早期発見早期治療に役立ててほしいと思っています。

1 生徒健康診断結果

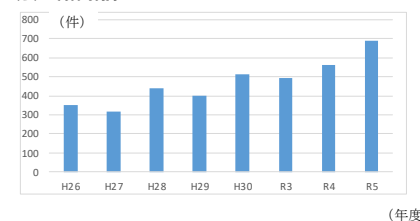
	対象学年	受診者数 (人)	未受診者数	学校での 検診受診 率	治療勧 告書配布 枚数	病院受診 率
体位測定	全校生徒	1058	0	100.0%		
視力測定	全校生徒	1058	0	100.0%	593	10.8%
聴力検査	1・3学年	708	0	100.0%	0	
内科検診	全校生徒	1056	2	99.8%	27	18.5%
歯科検診	全校生徒	1051	7	99.3%	104	11.5%
尿検査	全校生徒	1054	4	99.6%	8	50%
心臓検診	1学年	358	0	100.0%	2	100%
胸部X線	1学年	358	0	100.0%	0	
耳鼻科検診	1学年	356	2	99.4%	11	18.2%
眼科検診	1学年	356	2	99.4%	6	33.3%

2 保健室利用状況年度比較（4月から12月まで）

(1) 外科的利用
(件)



(2) 内科的利用
(件)



外科的利用よりも内科的利用が徐々に高まってきています。保健室では、「子どもの権利条約」を基本におきながら、生徒一人一人が抱えた健康課題に養護教諭と一緒に向き合い解決を図っています。保健室利用を健康学習のチャンスとし、生涯にわたる健康生活を保持増進できるように、また困難を乗り越えられる知識と教養、豊かな心を身につけられるように個別指導や集団指導を行っています。

コミュニケーションの向上 ～アサーショントレーニングを学ぶ



沢崎先生
です

講師は、埼玉大学名誉教授の沢崎俊之先生です。講義内容は、最初に「アサーションとは？自分も相手も大切にすると、どういうこと？」の理論を学び、次に「自分の気持ち・相手の気持ちと仲良くなる演習。非言語による意思疎通」を学びました。1年生の保健委員とPTAの方々に参加してくれました。良い学びを得たので、校内での共有の情報として広げることができたら、企画者としても嬉しいです。

アサーションという言葉が知らなかったのが勉強になりました。もっと調べてみたいです。心理学もおもしろいなと子どもたちに伝えたいです。子どもたちに教え、また、自分も職場、家庭で使っていきたいです。(PTAの方からの感想)



ネズミと怪獣とわたしに分けて、物事の考え方をそれぞれ比較していく内容のときに、自分だったらと考えてみると面白いと感じました。また、目をつぶった状態で割り箸を使うペアワークのときは、相手を信じる必要があるから、仲が深まる遊びだなと感じました。



割り箸を使用した体験学習の様子

人はときにネズミのように縮こまってネガティブになったり、ときには怪獣のような傲慢でわがままになってしまうというのが、とても印象に残りました。その間にいる「私」になるためには自分の気持ちや意見も正直に言うべきだと学ぶことができてよかったです。

例として講師の先生があげた内容、「このような状況」は「怪獣」「ネズミ」「わたし」として考えた時に、どれにあてはまるか、その学習が現実であり得ることばかりだったので、とても実感が湧き、わかりやすく理解することができた。

使用教材「ネズミと怪獣とわたし」パット パルマー作 原生林